

科 目 名	高齢者福祉論					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	倉 田 康 路・江 口 賀 子						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択・必修（介護）
授業の概要 及びねらい	本講義においては、現代社会における高齢者福祉の需要や取り巻く環境等を通して老人福祉の意義について理解し、今日までの史的変遷や今日の動向および介護保険制度を中心とした高齢者福祉にかかわる法制度について学ぶ。授業目標は次のとおりである。①高齢者福祉の社会的背景について理解する、②現代社会における高齢者福祉の理念と目的および意義について理解する、③高齢者の福祉需要の把握方法について理解する、④高齢者福祉の歴史や今日の動向について理解する、⑤高齢者の精神的、身体的特徴や障害について理解する、⑥介護保険制度など高齢者福祉についてその体系や内容および利用手続きなどから理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 高齢者の心身の特性について説明することができる。 2) 高齢者をとりまく社会環境や生活についての実態を説明することができる。 3) 高齢者福祉の中心となる制度としての介護保険制度の内容や課題について説明することができる。 4) 老人福祉法・制度について説明することができる。 5) 高齢者虐待の実態や防止に向けての取り組みについて説明することができる。 6) 高齢者福祉にかかわるバリアフリーの状況や取組について説明することができる。 7) 認知症について理解し、特性に応じた支援の在り方を考えることができる。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	テキスト『老人福祉論（社会福祉学習双書）』全国社会福祉協議会、2015年						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○	○	○	80		
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度	○	○	◎	○	10		
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	◎	○	10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	高齢社会の特徴とその意味（人口、経済、家族構造、老化・介護問題などから）						
第 2 週	高齢者福祉の理念、目標、意義、概念、範囲（社会的背景を踏まえて）						
第 3 週	高齢者の福祉需要の把握方法と具体的内容						
第 4 週	高齢者福祉の利用者の理解（高齢者の精神的・身体的特徴、障害などから）						
第 5 週	高齢者福祉の史的発達Ⅰ（戦前的高齢者福祉施策を中心に）						
第 6 週	老人福祉の史的発達Ⅱ（戦前的高齢者福祉施策を中心に）						
第 7 週	高齢者の介護の実態（高齢者虐待の実態と防止）						
第 8 週	老人福祉の今日的動向と方向性（日本型福祉社会のなかの老人福祉施策）						
第 9 週	老人福祉法・制度の体系と内容（目的、理念、具体的内容）						
第 10 週	老人医療制度の体系と内容（具体的内容）						
第 11 週	介護保険法・制度の体系と内容Ⅰ（導入の背景、目的、理念、具体的内容）						
第 12 週	介護保険法・制度の体系と内容Ⅱ（意義、役割、保険者・被保険者など）						
第 13 週	介護保険法・制度の体系と内容Ⅲ（利用手続き、認定、運営、サービスなど）						
第 14 週	認知症高齢者の特性と支援						
第 15 週	まとめ（試験含む）						
第 16 週							
備 考	毎回の授業の予習と復習を各自で行っておくこと。						